いまの社会を、憲法通りにつくり変えよう

憲法改悪ストップ兵庫県共同センター週刊ニュース

650-0012 神戸市中央区北長狭通５－２－１０・兵高教組会館４Ｆ
電話：078-366-6855　ＦＡＸ：078-366-6856
Eメール：kenpou-hgkyodo@s9.dion.ne.jp　ＨＰ：https://kenpou-hyougo.sakura.ne.jp/

憲法を活かそう
No.1010
2025年6月19日

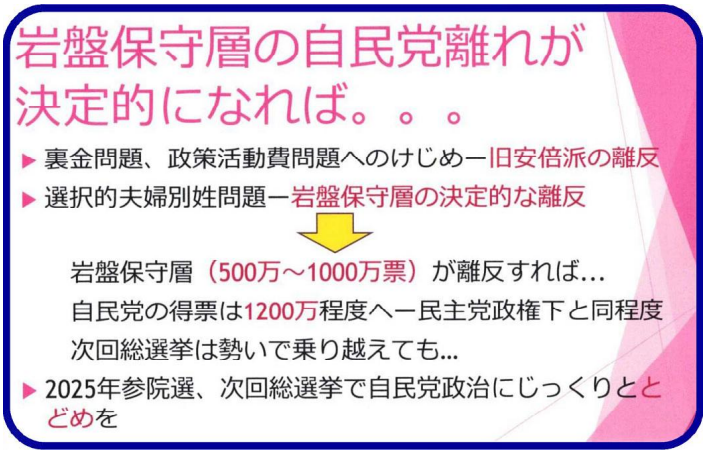
戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく 平和の国づくりを　　たたかい続けよう

兵庫県憲法会議が総会
「国民分断」から「包摂の社会」を

6 月 12 日中央区文化センターで兵庫県憲法会議の 2025 年総会が開かれました。

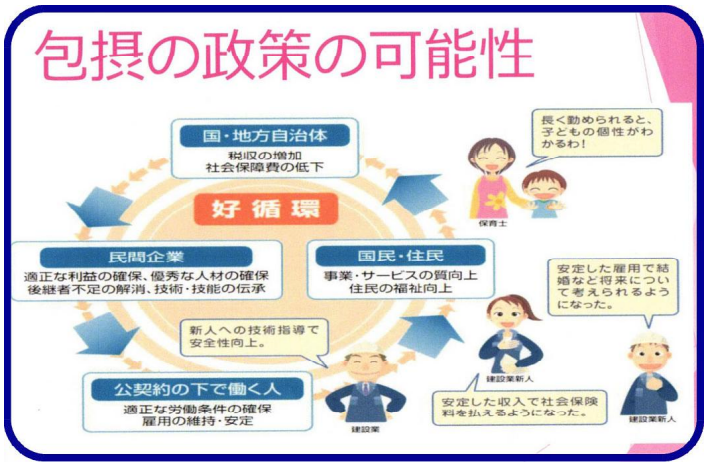
記念講演として関西学院大学の冨田宏治法学部教授が『自民党融解と SNS 選挙～「分断」に抗して「包摂」の政治を～』のテーマで、55 枚のカラー画像を駆使して詳しく解説しました。

まず自公政治の延命装置だった「安倍政治」の崩壊は、いままさに自公政治の終焉まで来つつあると断言。その延命装置だった「岩盤保守層」が、その結束するイシュー（伝統的家族／改憲／男系男子天皇／外国人排斥／反緊縮）にしがみつくも、内部で互いに憎悪がまん延していることを具体的に示しました。岸田から石破政権もその俎上にあるため、石破らしさを貫けばその岩盤層の反乱招き、石破らしさを捨てれば「国民の期待？」を失うという深刻なジレンマに陥っている状況だと説明しました。



この事態に、国民民主の「若者をつぶすな・手取りを増やせ、年寄りを殺せ」による世代間分断への誘導、維新や石丸さらには立花などが、ショート動画を駆使したSNS攻勢で国民全体を分断へ導く姿となってきたのです。岩盤保守の高市や国民民主、そして蓮舫バッシングなどの動画なども紹介、創っている業者たちも相当な儲けになっているようで、兵庫県知事選でこれらが最も顕著でした。

この自民党から剥がれ落ちた岩盤保守層の分断攻撃は、「力」対「力」、「暴力」対「暴力」、「軍事力」対「軍事力」へ。これにどう立ち向かうのか、冨田教授は「包摂の理念をどう打ち出すのか」について話を進めました。モデルとして東京杉並区政の“ケア民主主義”を例に『包摂の政策の可能性』による好循環社会の姿を説明。ただこれは「ショート動画」方式では難しく、「路地裏対話、シール投票、対話深める街宣」など、従来からの地上戦をさらに深めて取り組む必要を強調しました。これらの努力がいま社会の変化をもたらしつつあり、世論調査では「消費税下げよ、やめよ、換わりの財源を示せ」が7割にも拡がり、またトランプの大失策政治もあって、「こんなアメリカにいつまで従属するのか」の世論が7割近くとなってきたことを説明しました。



総会議事は、木下智史代表幹事から2024年の活動報告と25年の方針が報告され、参加者からの意見も含め、新しい役員体制も確認されました。

◇◆◇地域や団体の催し◆◇◆

★☆★　６月２７日（金）　　18時～19時30分

大軍拡・大増税NO！　オンライン学習決起集会
参議院選挙で政治を変えよう

主催：大軍拡・大増税 NO ！連絡会
場所：完全オンライン
ZOOM　ミーティング ID：818 0356 5252
パスコード：123456
講演：布施祐仁さん・ジャーナリスト
『軍拡政治はどこに向かってるのか
～亡国の対米従属と自立のチャンス～』
（連）03 － 5842 － 5661

★☆★　７月２６日（土）　　13時半～

第4回救援学校

場所：あすてっぷ神戸セナー室
講師：濱嶋隆昌さん・国民救援会兵庫県本部事務局長
『兵庫の弾圧事件、その教訓、救援会の役割を学ぶ』
特別報告：西区ポスター事件・不起訴のたたかい
弾圧体験者からの発言
（連）078 － 351 － 0677